

【編集後記】 二宮治彦 (編集長)

今号には、医療科学主専攻で「免疫検査学」「同実習」などを担当する澁谷和子助教授(基礎医学系)に【特別寄稿】を頂きました。澁谷和子先生は筑波大学医学専門学群の御出身で、大学院医学研究科で免疫学の研究をされて以来、免疫学の研究一筋にこられました。医療科学主専攻2年次3学期、「免疫検査学」を既に開講されています。医療科学主専攻の学生諸君が将来どのような進路に進んでも免疫学・免疫検査学の知識と技術は皆さんを支える大事な柱の1つだと思います。

【解説】では、「医療情報技師」という資格について、先生ご自身の受験経験も交えて坂庭教授に解説頂きました。合格率を知って少し驚きましたが、医療科学主専攻の学生諸君も在学中に是非チャレンジをしてみても如何でしょうか？また、「細胞検査士」について長田教授に解説を頂きました。1回生には昨年度の進路に関する説明会で紹介しましたが、卒業後、病理学分野で活躍する際に重要な資格になります。

【総説】は、岡村教授に「メダカの色素胞と体色変化 生物学実験:実験6について」を寄稿頂きました。

【MedTec Forum】では、学生担当教員として学生諸君の「進路」について、ことのほか気にかけてくださっている浦山修教授に、学生諸君の最大の関心事に関する寄稿を頂きました。12月初旬に在学類生向けに行なわれた説明会の資料を中心に寄稿頂きました。医療科学主専攻の教育評価についての方向性・問題点などを、自己点検・評価委員である有波教授に寄稿頂きました。もう1つは医療科学主専攻のカリキュラムについての原稿を掲載しました。

【編集者への手紙】は、在学類生からの投稿を期待していましたが、残念ながらありませんでした。……が、医療技術短期大学部衛生技術学科3年の有賀さんから病院実習を終えての感想を寄せて頂きました。

本号のカバー写真は、岡村教授がこの2学期に行った「生物学実験」で訪れた筑波実験植物園の植物です。

筑波医療科学 第1巻 第3号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 有波忠雄
発行所	筑波大学 医学専門学群 看護・医療科学類 医療科学主専攻 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2004年12月25日